

長崎県

うつかわさとやま

現川里山保全の会

里山保全活動で地域コミュニティを活性化



子供・保護者による林道ごみ拾い活動



子供向け炭焼き体験会の様子



森林公園オープニング

取組概要

- 森林所有者と3年間活動の締結を結び、下草木の伐採、枝打ち、間伐作業という流れで取り組む。また、間伐材を利用し、森林公園で小屋・丸太遊具他の制作をしている。
- 平成27年度より年2回、延長7.5キロの林道美化活動を実施。近隣小学校の総合学習の一環として参加してもらっている。
- 森林公園活動として、学童保育の子供たちを迎えて、炭焼き体験や自然林体験会などを行っている。

活動成果

- 植林地保全活動は、高齢者など森林管理のできない所有者に喜ばれている。
- 林道美化活動を行う上で、最近ではイノシシ被害(落石等)が多くあるため、土石除去作業もやっており、地域住民の市内への移動路としての機能を維持している。
- 子供たちの環境美化体験活動を通し、感想文発表やごみ捨て防止ポスターなど、環境美化意識の推進に繋がっている。また、森林公園活動等での体験で、自然環境への関心の高まりに寄与できている。

現川里山保全の会

長崎県長崎市現川町2525番地

Tel : 095-830-2483 Fax : 095-830-2730

たびら

田平地域農業活性化協議会

農業、担い手、農地利活用の面からの活性化



飼料イネWCSあとブロッコリー展示圃



ブロッコリー機械化体系展示



作業支援員の現地ほ場研修

取組概要

- H26年に平戸市田平地域(旧田平町内)の農業活性化を図るため、17の農業関係団体代表者を構成員として設立。H27年に住民主体で地域の将来ビジョンを作成。
- 労力支援組織の設立に向けた協議、耕地の有効活用に向け、飼料稲WCSとブロッコリー等の展示圃の設置等推進。
- 地域資源の活用による地域活性化を図るため、地場産品を活かした地域のPR、都市住民等との交流人口拡大に向けた取組みを推進。

活動成果

- 労力支援として1人の作業支援員が有料で1日1戸、11戸の農家の作業を順に手伝う田平町労力支援組織を設立。組合員からは、家族労力の足りない農繁期に来てもらえるので助かりますとの声が寄せられている。
- 協議会活動により、労力支援組織の構成員拡大またはヘルパー組織等も含む同様の組織数を増やしていきたい。
- 新規の作業受託組織や集落営農組織の育成に取り組み、田平地域全体の活性化につなげていきたい。

田平地域農業活性化協議会

長崎県佐世保市吉井町大渡80

Tel : 0956-41-2033 Fax : 0956-64-2239

いさはや
長崎県立諫早農業高等学校 食品科学部

長崎県農産物を用いた地域活性プロジェクト



取組概要

- 県のブランドみかん「伊木カみかん」の知名度が低迷するなか、行政等から規格外品を用いた商品開発の依頼を受け、「みかんおこし」を開発
- 規格外の枇杷・南瓜・かんころを使用した菓子商品も開発（「枇杷カステラ」、「つきひめ」、「かんころランタン」）。また、南瓜蔓等の廃棄物から伝統文化「湯江紙」の開発にも成功。
- みかんの果皮や絞り滓を椎茸栽培の菌床として活用する技術を開発。

活動成果

- 「みかんおこし」は販売から1年8ヶ月で、20,000箱を売り上げる大ヒット商品となり、長崎県特産品新作展「ながさき手みやげ大賞」受賞。
- みかんの果皮等の廃棄物を使った椎茸菌床栽培技術は、特許を取得。
- JA長崎や伊木カみかん加工グループのみ会からは、「材料提供が追いつかない」と喜ばれるとともに、地元農業や産業全体に経済効果をもたらしている。

株式会社 ふれあいファーム

「安心・安全」「つながる農業と福祉」



爽やかトマトジュース完成



トマトハウス作業風景



水耕栽培ハウス作業風景



落花生の作業風景

取組概要

- 従来の水耕栽培によるサラダほうれん草とココバック栽培のトマトに加えて、令和2年度は小葱・落花生の栽培を始めた。
- 収穫・選果・計量・袋詰め・箱詰めなどの作業を障害のある方が主体的に取り組めるよう、作業工程を細分化し、文字だけでなく絵や色などを用いて視覚的な作業環境づくりに努めている。
- 自社生産のトマトを使った無塩・無添加トマトジュースの製造・販売。

活動成果

- 現在、障がいのある方40名が主体的に、やりがいと自負を持ちながら作業に従事。地域労働者の雇用やボランティアの受入、障害児童等の就労体験等の幅広い取組を実施。
- 障がい者は、この活動によって経済的にも自立し、グループホームなどで生活することが可能となった。
- トマトジュースは、スーパーや直売所だけでなく銭湯や温水センター、カフェを販売チャネルとして、健康志向の高いお客様に喜んでいただいている。

一般社団法人まつら党交流公社

松浦党の里 ほんなもん体験



地引き網体験



田植え体験



農泊

取組概要

- 松浦市、平戸市、佐世保市で体験型修学旅行を受入。当公社は学校・旅行社の窓口、構成組織(13組織1団体)は現場管理を、各組織に加入する会員(農林漁家)は修学旅行の受入れを、それぞれ担う。
- 体験メニューは農林漁業、田舎料理、シーカヤック等84種類を提供。会員(450戸)は体験と民泊をセットで提供。また、修学旅行閑散期にインバウンドを含む一般客の受入れに向け、ホームページ作成等PR活動を実施。

活動成果

- 年間150校2万人前後を受入れており、H30年度には、累計30万人を達成。一般客の受入も増加(R1年度843人)
- 生徒は、農林漁業と民泊の体験で、地域の食文化や生活、農水産物の価値を知り、コミュニケーション能力を高めている。受入れ側は、生徒が感動する姿を見て、自分の生業に自信と誇りを覚えている。
- 体験指導料や民泊料を始め、弁当発注等は、地域に経済効果をもたらしている。

ゆきのうら

特定非営利活動法人 雪浦 あんばんね

雪浦ウィークから雪浦マンス&イヤーへ



移住体験ツアー



長崎大学留学生サマープログラム

取組概要

- ゴールデンウィーク期間中に4日間開催する地域回遊型イベント「雪浦ウィーク」をH11年以来、毎年開催。(今年度はコロナ禍で初の中止)
- 年間を通した活動の創出に向け、H27年にNPO法人化。カフェレストランを開設するとともに、H30にゲストハウスをオープンした。
- R元年は長崎大学と連携し、留学生12名を受け入れ、サマープログラムの地域社会を学ぶ場として雪浦を提供。

活動成果

- これまでの「雪浦ウィーク」や地域活性化の取組でUIターン者が増加しており、小学校教育生数の減少が止まり、保育園児数は上昇に転じている。
- ゲストハウスの宿泊者数は、英語版HPの開設等もあり、R元年に入りインバウンドが急増し、世界約30か国から254人の来訪者があった。
- R元年8月に「移住体験ツアー」を実施。3家族10名参加のうち、1家族が移住している。

特定非営利活動法人 雪浦あんばんね
長崎県西海市大瀬戸町雪浦下郷1241

<https://yukinoura.net/>

Tel: 0959-31-4071

Fax: 同左